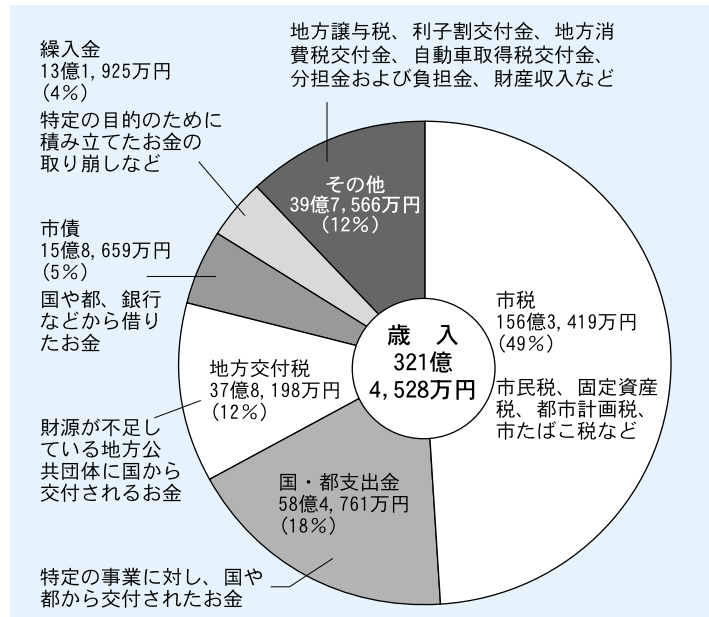


平成14年度 決算のあらまし

歳入の減により 厳しい決算

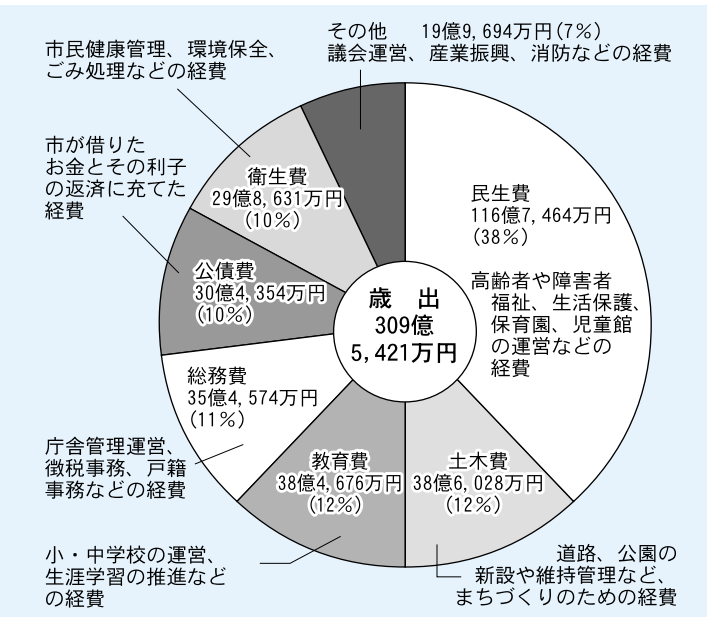
14年度の一般会計決算額は、歳入額が321億4,528万円、歳出額が4,421億5,421万円です。13年度と比較すると、歳入では市税、地方交付税などの減少により10・2%のマイナス、歳出では駅東口土地区画整理事業や小・中学校の補強・改修工事をはじめとした大規模事業の減などにより、10・6%のマイナスとなりました。

翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた差戻支は、市の貯金にあたる財政調整基金から11億円を取り崩したことから、11億9,107万円となりました。一般倉庫、国民健康保険・老人保健・介護保険・下水道事業・受託水道事業の5特別会計を合計すると、歳入は550億3,006万円、歳出は537億7,169万円となり、前年度に比べて、歳入6・6%減、歳出6・7%のマイナスとなっています。



一般会計

一般会計は、市民の皆さんに納めていただく市税を中心に、地方交付税や国・都支出金、市債などを財源として、公共施設の整備、福祉、保健衛生、消防、教育など、市民生活を支える基本的な経費が計上されています。



市民一人当たりの税負担額

市税負担額	137,834円
・市税（個人・法人）	66,026円
・固定資産税	53,336円
・都市計画税	12,638円
・その他	5,834円

都市計画税は、都市計画区域内の土地または家屋の所有者に負担していただく目的税で、都市計画道路の築造や用地買収、駅周辺の土地区画整理事業に要する費用等に充てています。

市有財産の現況（14年度末現在）

・土地（庁舎、学校、保育園、公園、図書館など）	586,297㎡
・建物（延床面積）	208,230㎡
・工作物（プールなど）	140カ所
・出資による権利（市土地開発公社、市コミュニティ振興公社など）	2億3,756万円
・物品（庁用車や各種物品）	731台
・債権（高齢者福祉住宅借上敷金など）	3,875万円
・基金（財政調整基金）	28億4,312万円
（その他の基金）	25億6,944万円



介護保険 だより 最終回

サービス未利用者の増加が、介護給付費や介護保険料の増加が予想されます。市では、要介護認定者の増加と給付の適正化に向けて、「介護サービス利用促進プラン」を策定し、サービス未利用者の増加を抑制する施策を実施しています。

サービス未利用者の増加は、介護認定者の増加に伴って発生しています。市では、要介護認定者の増加と給付の適正化に向けて、「介護サービス利用促進プラン」を策定し、サービス未利用者の増加を抑制する施策を実施しています。

行財政改革の実施状況と 財政効果がまとまりました

13年度から17年度の計画期間（と）時限的・臨時的な取り組みである財政危機突破プランに基づいて策定した第二次財政健全化計画（第二次改訂版）

14年度決算に見る市民一人当たりの主な目的別経費

生活環境	2,952円	教育・文化	
ごみ・し尿処理	1万7,998円	幼稚園	1万2,759円
健康管理、環境保全	8,330円	小学校	4,824円
生活基盤		中学校	3,221円
道路	1万4,686円	図書館	1,448円
公園	1,418円	公民館	1,097円
上水道	7,160円	社会教育	3,122円
下水道	2万8,889円	スポーツ	
福祉		《公債費》	
高齢者	1万5,979円	一人当たりの返済額	2万6,832円
障害者	1万3,895円	《国民健康保険事業》	
保育園	2万3,036円	加入者一人当たり	19万514円
学童保育所	2,754円		
児童館	1,388円		

14年度の主な事業

総務費	1,377万円
行政体質改革事業	7,399万円
西都地域センター改修工事	3,035万円
民生費	
高齢者向け優良賃貸住宅助成	2,186万円
痴呆（ほう）性高齢者グループホーム整備事業補助金	2,000万円
衛生費	
大気中のダイオキシン類調査	48万円
土木費	
市道補修工事	5,464万円
市道拡幅用地購入および物件補償	7,680万円
都市計画道路整備	7億5,890万円
駅東口第二土地区画整理事業	1億2,605万円
公園用地購入	4,342万円
東口中央公園、南公園整備	6,173万円
消防費	
高規格救急自動車購入	3,412万円
教育費	
小学校施設管理費（改修工事等）	1億4,162万円
中学校施設管理費（改修工事等）	1億5,300万円
幼稚園施設管理（改修工事等）	8,799万円
図書館改修工事	1,492万円
公民館音響設備購入	2,993万円

まちづくり指標の状況

基本計画の策定に当たり、施策の実施により市民生活をどの程度向上させるかなどの目標を「まちづくり指標」として設定し、14年度におけるこの指標の状況を表にまとめました。詳しくは企画調整課 ☎70・7702へ。

基本目標 1 市民一人ひとりが共につくるまち			
	実績	13年度	14年度
委員会等の公募委員の割合	37.4%	40.0%	30.0%
コミュニティ施設等の利用件数	32,177件	32,392件	32,283件
基本目標 2 水と緑を守り育てていくまち			
市民一人当たりの公園面積	2.07㎡	2.06㎡	2.09㎡
雨水浸透施設の設置助成を受けた住宅の戸数	587戸	606戸	726戸
基本目標 3 子どもがのびのび心豊かに育つまち			
保育利用乳幼児数	1,433人	1,483人	1,456人
学校教育におけるコンピュータ活用の割合	78.3%	95.6%	100%
基本目標 4 高齢者がいきいき幸せに暮らせるまち			
要介護高齢者の出現率	9.9%	10.5%	11.4%
障害者施設などに通所する人の数	321人	355人	380人
基本目標 5 豊かな出会いにぎわうまち			
直販農家数	125戸	125戸	137戸
市民大学年間受講者数	289人	269人	380人
基本目標 6 快適な都市環境が整ったまち			
幅員5.5m以上の道路の割合	15.4%	15.7%	17.9%
市民一人・1日当たりのごみ排出量（ごみ原単位）	663g	666g	600g
計画の推進			
経常収支比率	90.2%	92.1%	85.0%

14年度の行財政改革による財政効果

【財政健全化計画】			
区分	目標額	効果額	
効率的な行政運営の推進			
施策の徹底した見直し	1億6,100万円	1億3,300万円	
補助金・助成金の見直し	4,300万円	4,600万円	
受益者負担の適正化	7,400万円	1億2,500万円	
新たな補助制度等の活用	1,500万円	1,400万円	
物件費の節減	3億5,700万円	7億4,700万円	
資産の有効活用			
未利用地の有効活用	5億3,400万円	7,600万円	
職員定数の見直し			
嘱託職員等の有効活用	7,800万円	3億4,200万円	
民間活力の有効活用	400万円	400万円	
人事給与制度の見直し			
昇給制度の見直し	400万円		
職員給与の適正化	4,800万円	4,400万円	
小計	13億1,800万円	15億3,100万円	
【財政危機突破プラン】			
7項目の時限的・臨時的事項	5,100万円	5,100万円	
合計	13億6,900万円	15億8,200万円	

取り組みができなかった9項目についても、引き続き目標の達成に向けて努力してまいります。

国民年金

老齢基礎年金等の請求手続きに加入していただく方、武蔵野市国民年金係 ☎0422-2561411へ

【老齢基礎年金の請求】第一号被保険者（国民年金のみ）の方 ☎0422-2561411

【障害基礎年金の請求】初診日に第一号被保険者であった方 ☎0422-2561411

【遺族基礎年金の請求】死亡した第一号被保険者であった方 ☎0422-2561411

【国民年金保険料の滞り】滞りがある方 ☎0422-2561411

「広報ひがしくろめ」市民伝言板をご利用ください

12月8日現在、「会員募集」および「催し」の1月7日号～4月1日号の掲載分を受け付けています。所定の用紙に必要事項を記入し、広報課（市役所2階）で、発行日の20日前までに申し込んでください。毎号、「会員募集」は18件、「催し」は12件まで、先着順に受け付けます。同一団体の掲載は、「会員募集」「催し」を合わせて1年度4回までで、3号以上間隔を空けてください。原則として市内で活動する団体とし、連絡先は市内在住の方に限ります。野外活動中心の場合を除き、市外で活動する団体の会員募集はできません。

なお、16年4月15日号～10月1日号については、3月1日（月）から受け付けます。

市民伝言板

☎73・8763へ

音読座万葉集入門 古典文学をよむ会 ☎1月17日から毎月3土曜日の午前10時～正午、中央図書館で、会員募集 ☎1,000円、詳細は ☎73・8763へ

社団法人 災害時の救助献血者の協力 福祉事業の協力 ☎1月10日（土）午後5時～午後7時、伊勢止コナサ ☎73・8763へ

伊勢止コナサ ト（ごみ伊勢正三） ☎1月10日（土）午後5時～午後7時、伊勢止コナサ ☎73・8763へ

伊勢止コナサ ト（ごみ伊勢正三） ☎1月10日（土）午後5時～午後7時、伊勢止コナサ ☎73・8763へ

特別会計

特別会計は、効率的な運営やその経理を明確にするために、一般会計から独立させたもので、市では国民健康保険・老人保健・介護保険・下水道事業・受託水道事業の5つの会計を設けています。

国民健康保険特別会計			
(歳入) 80億219万円	(歳出) 80億7万円		
国民健康保険税	25億8,976万円 (32%)	国民支出金	23億445万円 (29%)
その他	31億798万円 (39%)	介護給付費	46億1,872万円 (58%)
		老人保健拠出金	26億5,261万円 (33%)
		その他	7億2,874万円 (9%)
			(歳出) 73億3,059万円

老人保健特別会計			
(歳入) 73億8,997万円	(歳出) 73億3,059万円		
支払基金交付金	51億647万円 (69%)	国民支出金	14億8,812万円 (20%)
その他	7億9,539万円 (11%)	医療諸費	72億8,928万円 (99%)
			(歳出) 73億3,059万円

介護保険特別会計			
(歳入) 34億363万円	(歳出) 33億9,782万円		
一般計からの繰入金	9億8,821万円 (29%)	保険料	6億8,607万円 (20%)
国庫支出金	23億445万円 (29%)	国民支出金	6億8,812万円 (20%)
その他	31億798万円 (39%)	介護給付費	30億4,656万円 (90%)
			(歳出) 33億9,782万円

下水道事業特別会計			
(歳入) 32億7,682万円	(歳出) 32億7,682万円		
一般会計からの繰入金	14億6,734万円 (45%)	使用料及び手数料	13億5,574万円 (41%)
公債費	19億7,725万円 (60%)	下水道費	12億9,957万円 (40%)
			(歳出) 32億7,682万円

受託水道事業特別会計			
(歳入) 8億1,217万円	(歳出) 8億1,217万円		
受託水道事業収入	6億9,477万円 (86%)	受託水道事業費	8億1,217万円 (100%)
その他	1億1,740万円 (14%)		
			(歳出) 8億1,217万円

会員募集

東久留米七福神めぐり 東久留米のびのびレクリエーション研究会 ☎1月18日（日）午前9時から、東久留米駅東口集合、参加費300円、先着30名、住所、氏名・年齢を書いた、フックスにて申し込み、詳しくは ☎73・8763へ